



6月4日(土)夏到来の気配を感じさせるいいお天気の中、第2回の園庭ワークを行いました。感染状況により人数制限をさせていただき、まだ卒園生には来ていただけなかったものの少しずつ本来の姿に戻っている事、本当に感謝しています。

今回も、設計の段階からこの素晴らしい園庭作りに関わってくださった大久手計画工房の大井さん、町田さんがかけつけてくださいました。またボーイスカウトで長年培った技を伝えようとモンキーブリッジをかけ替えるために勝田さん、西洞さんがいらしてくださり、南園庭の(ポロポロの)平均台を新しくしようとトントンコーナーの「むっちゃん」こと梶田先生も参加。多くの力と想いが結集した一日となりました。砂のたまった側溝もきれいになり、わかば前のウッドデッキもワックスを塗ったことでつやつやピカピカ、雑草が茂っていたエントランス側もすっきりしました。ぶどう前に茂って屋根まで伸びていた藤は新しく竹で棚を作りもともとあった藤棚と合体して気持ちのいい日陰を作れそうです。

こうして自分たちの園庭をメンテナンスし、作り直し、新しい息吹を吹き込み、それが子ども達の次の遊びへとつながっていくのですね。その中で毎年、新しいおうちの方々が参加してくださいますが保護者の皆様も「縦」の関係を紡いでくださり、声を掛け合い参加を楽しんでくださっています。園に関わる多くの人たちが脈々と受け継いできた、このつながりと活動をこれからも大事にしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

さて、今回のこどもニュースは「学年のあつまり」がテーマです。幼稚園では「自分で遊ぶ」事を大事にしていますが、その「主体的な遊び」を豊かにするために年齢別のあつまりでもさまざまな取り組みをしています。クラスを超えた関係や繋がりができたり、学年のあつまりでの経験が主体的な遊びの時間に深められたり継続したり・・・と循環することが大事と考えています。

児玉 芽 



年長あつまり始まりました！！



☆じゃがいも植えました！

一人ずつ鉢を用意し、名前シールを貼り、自分専用というのはやはり嬉しいようで、子ども達はやる気満々！この日はちょうど雨が降っていたのですが、エントランスの屋根の下でわいわいがやがや楽しい時間となりました。鉢に土を山盛り入れた後、キタアカリと男爵どちらか植えたい方の種芋を選びました。「土はこれぐらいで良い？」「種芋はどの辺に植える？」などなど真剣だからこそ、色々確認する年長さん。植えた後は土の入った重い鉢を「よいしょよいしょ」と遊戯室前まで落とさないように運びました。

☆看板も作りました

どんなじゃがいもに育ってほしいかじゃがいもの絵を描いて看板を作りました。大きいじゃがいもを一つ描く子や、小さなじゃがいもをたくさん描く子、ハートのじゃがいも、星の形のようなキラキラしたじゃがいもを描く子など様々で、自分の思い思いのじゃがいもを描く姿に、子ども達が楽しみにしている様子がよく伝わってきました。

☆観察しています

昨年もじゃがいもを植えたのですが、その時はプランターに学年関係なく植えた子が植えました。収穫時は楽しみに大勢の子がじゃがいもの様子を見に来るのですが、普段は残念なことにより興味を持ってもらえず……。しかし今年は自分専用ということで、毎朝じゃがいもが元気に育っているかチェックしたり、降園時にじゃがいもを親子で観察したりと、興味を持ってもらえて嬉しいです。

子ども達とじゃがいもを作って、地域の人たち（子ども食堂など）にお裾分けして社会貢献しよう！という守山区の“じゃがいもプロジェクト”を知っていますか？今年度は、年長さんとその活動に参加できたらと思いじゃがいもを植えました。収穫の時期がきたら子ども達とじっくり話し合いをし、どうするのか決めたいと思っています。年長だからこそ、自分のことだけでなく、周りの人たちのこと、困っている人たちのことを考えられる人になってほしいという願いを込めて行っています。



☆縄跳びづくり、がんばってます♪

年長あつまりが始まったばかりの頃、「年長さんになってやってみたいことは？」と尋ねると、多くの子どもたちが『なわとび』を挙げていました。どんなことにも意欲的な今年の年長さん。待ちに待った縄跳びづくりの様子は…。

【まずは布を裂いてみよう！】



三つ編みをするには3色の布が必要であることを子どもたちと確認し、自分たちで3人グループを作り、1人ずつ好きな色を選びました。そして1枚の大きな布の端を3人で持って引っ張ると…あら不思議?!真っ直ぐ3等分に裂けちゃったっ! 味わったことない感覚、爽快感に「すご(い)っ!」「か～んた～んっ!!」と子どもたちの弾んだ声が、部屋中にあふれました♪

【じゃばら折り、マスターしました☆】

次は、長～い縄跳びを編む時に絡み合わないよう、布をじゃばらに折り畳みます。これが、なかなか難しい…。「折り紙の時は上手にできたのに」と戸惑う子もいる中、ひとりの子が簡単なじゃばらの折り方を教えてくれました。それまで悪戦苦闘していた子も、その折り方を伝授してもらおうとコツを掴み、あっという間に布を折り畳むことができました!! マスターした子が友だちに教える嬉しい姿も。自分のことだけでなく、困っている仲間を助けようとする心が育っている年長さん、素敵です♡

【最後までやり遂げる粘り強さが必要です☆】

畳んだ3つの布を縛って、三つ編みの旅の始まり!! 子どもたちの表情を見ていると、葛藤しながらも「縄跳びを完成させたい!」という思いに支えられ、ゴールに向かって自分と向き合いながら取り組んでいることがわかります。「できな～いっ」「年長やめる!」「先生やってよ～」と涙を溜めている子がいたり、集中力が途切れて布で遊んでしまい、畳んだ布がバラバラになって途方に暮れている子がいたり。一人ひとりのドラマがあります。完成した子は、小さな先生となって友だちを支えてくれていますよ。それぞれのスピードでゴールを目指している子どもたち。完成したよ!とおうちの方に報告があった時は、い～っぱい褒めてあげてくださいね♡



今、年長のあつまりでは、キャンプに向けての話し合いをしています。自分の思ったことを友だちに伝えたり、友だちの意見を聞いて自分と違う考えを知るという経験を積み重ね、みんなで相談しながら自分たちで決めていく主体的な活動を大切にしていきたいと思っています。

(AKI & Rina)

年中あつまりのようす...

☆「ねんちゅうさん」として...

今年の年中さんにどんな一年を過ごしてほしいか、また、どんな年長さんになってほしいか、子どもたちのことを思い浮かべながらこの一年間の計画を立てています。いろいろな場面で葛藤の多い4歳児、その成長段階を踏まえて、多様な経験ができるようにと考えています。そしてその経験の中から、挑戦していく力や楽しむ力、年長への憧れなどなど、多くのことを蓄えていってほしいと願っています。

☆おさんぽ、さんぽ♪

昨年度、年少さんであった時からあつまりの活動の中で何度も園外のお散歩に出かけていた子どもたち。前年度の年少担当から「歩くの上手です！」との太鼓判も！

さっそく年長さんがサツマイモの苗を植えてくれた“いも畑”へお散歩に行ってきました。せっかくいも畑に行くので、年長さんに「ペットボトルバケツ貸してください！」と自分たちでお願いをして、水やり用にペットボトルバケツを借りて、帽子もかぶって、水筒も持って出発です！

いも畑では暑さでクタツとなったサツマイモの苗に、上手にお水をあげる子どもたち。シートに空いている穴にむかって、自分の足にかからないように、乾いているところを探して...事前に保育者が伝えたことをそれぞれに考えながら、何往復も水をあげてくれました。そのおかげで、苗はみるみる元気になり、帰り際には葉っぱがシャキッと上を向いていました！



...保育者のひとりごと...

なんだか階段でつまづく子が多い? 手をつないで歩くの苦手? 間が空いて列がどんだんのびてゆく?!
車で出かけてしまうことの多い現代社会...みんなどれくらい歩いているのかなあ?

☆おへやで！みんなで！リズムにゲームに…

こちらまで昨年度までクラスの活動やあつまりの中で繰り返し経験してきたリズムやゲーム(ルールのある遊び)を、年中さんだけで楽しみました！クラスでは、年長さんがリードしてくれますが、あつまりでは年中さんだけ?!(年中さんだけでたのしめるかなあ…)保育者の心配をよそに、年上児の姿を見てきた子どもたちは充分楽しみ、自分たちだけでできた！という自信につながりました。

中には「ちょっとやりたくないな」「失敗したらどうしよう」「負けるのいやだなあ」と自分の心と葛藤している子どもたちもいます。その子自身のタイミングで「やってみよう！」と一歩踏み出せる時を、保育者だけでなく周りの子どもたちも一緒に、待てる時間にしていきたいです。



今年一年、子どもたちがどんな姿を見せてくれるのか、楽しみにしています。ひとり一人が違う存在だからこそ、それぞれの捉え方や葛藤、タイミングがあります。そんな“色んな”子どもたちと様々な経験を共有しながら、「よかったね！たのしかったね！」と言える年中あつまりにしていきたいと思います。



年少あつまり

5月下旬から、年少さんの【あつまり】が始まりました！

【あつまり】とは、その時間は各学年ごとで活動을します。年少さんだからこそ知ってほしいことや、経験してほしいことに丁寧に取り組みながら、横の繋がりも広がっていくように様々な活動を行っています。クラスのお友だちや担任の先生だけでなく、他のクラスのお友だちや保育者との出会いもあります♪1学期は2つのチームに分かれてあつまりをしています。(活動によっては全員ですることもあります)

★ゆか先生・あゆみ先生チーム ほしぐみ、ゆりぐみ、はとぐみ
(飯たいちくん、みつきちゃん、あやとくん、こずえちゃん)

★まお先生チーム ひつじぐみ、ぶどうぐみ、はとぐみ
(かふねちゃん、ゆうとくん、めいちゃん、はるきくん、はくしんくん)
※フリーの先生が交代で入ってくださいます♪

様々な遊びコーナー

自由に遊びました!!

Bブロック

色々な形づくり

ミッキートレイン

おまご

お城の完成!!

おえがき

リズムって楽しい!!

ピアノの音に合わせて身体を動かしてみよう

トンボになって片足立ち!!

メダカになってすいすい走る

両足をあげてジャンプ!!

両腕はまっすぐピンと伸ばそう

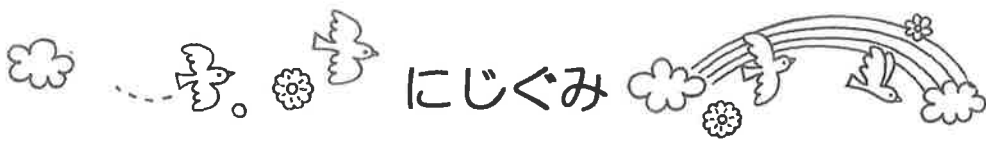
カエルになって高くジャンプ!!

両足をあげてジャンプ!!

★なりきりが楽しめるのも年少さんならでは!! 楽しサ満ち、色々な動きに挑戦していきます。リズム大好きな年少さんたちです♡

あつまりの様子は、こどもニュースを通してお伝えしていきます!

6 楽しみにしててください♪ (あゆみ)



にじぐみ

今年度のにじぐみさんは2名からスタートしたのち、6月にはあっという間に13名になりました。入園を楽しみにして、2、3日目あたりまでは元気に登園していた子が急に「ようちえんいやだー！」とエントランスで泣き出すこともあります。心配そうなおうちの方から、泣いているお子さんをお預かりするのは心苦しいのですが、サクッと別れて気持ちが切り替えられる子もいれば、保育者が抱っこして話しかけていくうちに、少しずつ落ち着いて次第に遊びに気持ちが向かう子もいます。一日中泣いているお子さんはいないので、ご心配されませんように。お友だちパワーは何よりも強く、誰かが楽しそうな遊びをしていると、そちらに興味が注がれて、寂しかった気持ちもどこかへ行ってしまうようです。

また、もう一つの強い味方が幼稚園の豊かな自然です。ダンゴムシやカタツムリを誰かが見つけてくると、涙もどこへやら、夢中になって観察を始めます。きれいな葉っぱや草花を見つけては、「ママにあげる」と大切そうに箱にいれて持って帰る子もいます。お友だちが増えても、ひたすらマイペースに自分の遊びを楽しんでいる子、気の合うお友だちを見つけて仲よく遊んでいる子、これからの出会いで様々な姿を見せてくれることでしょう。

うれしい♡マイ・クレパス



引き出しに入っている自分のクレパスがとっても嬉しいにじぐみさん。必ず毎日「おえかきしたーい！かみちょうだい」の声がかかります。自由に描くのも楽しいですし、あつまりの時間でみんなと一緒に描くのも楽しそう♪お友だちの使っている色を真似たり、刺激を受け合っていることもあります。なぐり描きはお絵描きの第一歩。自由に伸び伸びと描くことを楽しんでほしいです。

あーん!! ○△×\$#②



子どもたちの中では、お友だちが使っているおもちゃが素晴らしく良いものに見えることが、ままあるようでして…。たとえ同じようなおもちゃがあったとしても、断然お友だちが使っているものがよいということで、無言の小競り合いがよく起こります。奪って素知らぬ顔をしていたり、奪い取られると「あ〜ん!!」と泣き叫んだり、相手を叩いたりと様々な方法で自分の気持ちを表します。そんな時はある程度のやり取りをしてから、保育者が間に入り、相手の表情をよく見てもらって考える時間を作ります。これは少しずつ相手の気持ちに気づき、言葉を使ってやりとりが出来るようになる学びの時です。友だちとの関りの中で、怒って、笑って、嫌だったり、嬉しかったり、いろいろな感情に揺さぶられる経験をします。小さな心の中は大忙しです。自分の気持ちも大切にするとともに、相手の気持ちも思いやれるようなコミュニケーションの土台作りをじっくり、しっかりと支えていきたいです。

